

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫便り

平成 25 年 10 月 21 日 (No.8)

浦幌町教育委員会



小中一貫教育とコミュニティ・スクール

■「浦幌小中一貫教育便り・No.4」で紹介した東京都三鷹市では、小中一貫教育を通して9年間の子どもの育ちを支えるため、地域とともにある学校づくりを推進するコミュニティ・スクール

(全国で1570校指定済み)に取り組み、実績をあげてきています。

■浦幌町では、平成20年に「学校支援実行委員会」を組織し、平成23年には各地域に「地域ネットワーク委員会」を設置して学校支援本部事業を展開してきました。

また、平成22年に「浦幌町教育の日」を制定し、教育の日推進協議会を中心に年2回「教育の日実践交流会」を開催してきました。うらほろスタイル教育も6年目になりました。

さらに、平成24年に「浦幌町小中一貫教育推進委員会」を組織するとともに、教育研究所においても研修を深め、平成27年の全面実施に向けて試行を重ねています。

■平成26年はこれまでの成果をもとに、コミュニティ・スクールの制度を活用した小中一貫教育を推進していくため、研究指定校に応募し研修を深めていく予定です。

コミュニティ・スクールのイメージ



Q&A Q11. CSとは、どのような仕組みですか。

●CSに指定された学校には、「学校運営協議会」が設置され、町教委から任命された保護者や地域の皆さんなどが、一定の権限と責任をもって、学校運営の基本方針を承認したり、意見を述べたりして、学校の様々な課題解決に参画していきます。

Q&A Q12. 他の学校とどこが違いますか。

●学校運営にあたって、保護者や地域の皆さんの参画が仕組みとして保障されていることが他の学校との違いです。
学校と地域が協働することによって、互いに信頼し合い、子どもたちの成長を支えています。いわば学校の応援団です。

CSとは、コミュニティ・スクールの略字です。